



ロータリーの未来は THE FUTURE OF ROTARY
あなたの手の中に IS IN YOUR HANDS

.....国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....

SUITA ESAKA ROTARY CLUB

CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日／1990.2.27 事務所／〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場／新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日／毎週火曜日 12:30~13:30
会長：渡辺忠雄 幹事：西本健二 会報委員長：速見憲

2009年11月17日 第929回例会(第928号)

○○ 本日の例会 ○○

今週の歌 「四つのテスト」

卓話 「ロータリーソング勉強会」

栢本淑子会員

○○ 次回例会のお知らせ(11月24日) ○○

卓話 「特許・商標入門」

弁理士桑原薰様

弁理士石川清久様

(小笠原会員紹介)

前回【11月10日】例会記録

来客

栢本義臣君

(卓話者・地区財団奨学生・学友委員会委員)

金子和斗志君(伊万里西)

森田晴夫君(京都東)

依田悠介君(国際親善奨学生候補)

林白さん(米山奨学生)

会長の時間

渡辺会長

皆様、こんにちは。

先週は祭日でしたので2週間ぶりの例会となります。先月27日の大谷ガバナーの公式訪問では、会員の皆様には大変お世話になりました。有り難うございました。

先週の7日の土曜日に周年事業として進めてきました関西大学RACの創立総会を吉川バストガバナー、井上バストガバナー、北田ガバナー候補エレ

出席報告

榎谷委員長

【11月10日】

在籍会員 44名(内出席規定適用免除者 9名)

出席会員 36名(内出席規定適用免除者 7名)

ホームクラブ出席率 85.71%

10月13日のMUを含む出席率 92.86%

クト、地区関係委員、近隣RCの会長、RAC関係者の皆様、並びに関西大学からは学生センター次長始め多くの方々にご出席の下、創立総会(会員登録29名)を終了し当地区では最初の大学RACが出来たことを報告いたします。

また、当クラブからは芳賀バスト会長はじめ14名参加して頂きました。12月12日(土)の認証状伝達式には会員皆様の出席をお願い致します。

これまで、大変なご苦労をお掛けしました西上RAC準備委員長のご尽力には敬意を表します。誠に有り難うございました。

幹事報告

西本幹事

本日、例会終了後、選考委員会を行います。

来週20周年実行委員会を行います。

地区大会の申込書を出席委員会にご提出下さい。

12月12日(土)、関西大学RAC認証状伝達式を行います。来週より案内と出欠を回します。

ニコニコ箱

栢本義臣様 卓話お礼をニコニコ箱へ寄付させていただきます。

北村(康)会員 多数の方から電話、有り難うございました。

長島会員 我が社のサッカーチームが吹田市長杯で3位に入りました。

西上会員 関大RAC創立を祝して、総会出席有り難うございました。

ロータリーとは、他人に対する思いやりと、他人のためにつくすことである。

言行はこれに照らしてから

四つのテスト

1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか



11月お誕生日

3日 米谷正夫会員
10日 田中弘会員
14日 今村啓志会員
23日 小笠原史朗会員

11月ご主人・ご夫人お誕生日

1日 今村奈緒子様
5日 柏本義臣様
8日 田口典子様
23日 芳賀三記子様

11月結婚記念日

1日 大井清会員
2日 飛田昭男会員
3日 東秀夫会員
9日 北山陽一会員
9日 田中弘会員
23日 北村康栄会員
30日 西上博幸会員

広報委員会

北山副委員長

新人研修について

11月17日例会終了後、約1時間の予定で新人研修を事務局で行います。小笠原・加藤・北村(雅)・原・田中(弘)各会員はご出席下さい。

奉仕活動委員会

飛田副委員長

(ロータリー財団担当)

今月は、ロータリー財団月間です。本日より13,000円の寄付をお願いしております。本日はロータリー財団月間に因んで地区の財団委員の柏本義臣様にお願いし、後程卓話を頂きます。

ボリオ撲滅活動のドキュメンタリーDVDはクラブで購入、1人1回は見て下さい。

ロータリーカード、7名の申し込み。

卓話

「ロータリー財団月間に因んで」

地区財団奨学金・学友委員会

柏本義臣委員

平素は何かと地区ロータリー財団関係でお世話に成りまして誠に有難うございます。本日は飛田会員

の一聲で「一言財団の話を」とお邪魔させて頂きました。自分の専門以外の話を30分近くお聞き頂くのは、そうそうございませんので良い勉強をさせて頂きます。有難うございます。

私も財団との関りは5年目に入りまして後半年で終了となります。この間、委員・副委員長・委員長と経験させて頂きましたが、その年度のガバナーのご指導も頂きとても良い経験をさせて頂きました。

次年度の財団奨学生候補と致しまして貴クラブより、西上顧問ロータリアンとしての依田さんが選ばれました。大変優秀な方ですから大きい成果を上げられ、当初の目的を達成されることでしょう。

この財団は、1917年「全世界的規模で、慈善・教育・その他社会奉仕の分野より、良き事をする為に基金をつくろう。」と提案され、1928年の国際大会でロータリー財団と名づけられました。

ロータリー財団のプログラムには、教育的・人道的補助金・ボリオプラス各プログラムがあり、その教育的の中に、「国際親善奨学金」、「国際問題研究のためのロータリー・センター」、「研究グループ交換」各プログラムがあります。

教育的プログラムは、発足以来民間レベルでは世界最大規模の奨学制度で、毎年約800名～1,000名程の奨学生が親善大使として勉学に励み、行動を行っています。その奨学金は25,000ドルです。

因みに350名程の皆様がご寄付下さって一人の奨学生を送り出させて頂く計算になります。

財団学友は、この奨学金を戴き帰国後にこの組織に所属し活動する元奨学生です。学友は2009年6月現在、全世界で111,000名。世界の元学友は41,000名、日本の元学友は7,633名です。

以上私に関係していますプログラムの中心的な活動を述べてまいりましたが、世界平和フェローシップ・大学教員のための補助金等々ございます。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。有難うございました。